

オープンカンファレンス(OC)

〈代謝部門〉

備えが
命を守る！

BCPを学んで、 自施設のマニュアルを完成させよう ～その日に作る！透析施設の災害対策マニュアル～

開催趣旨

令和8年度診療報酬改定では、新設された「腎代替療法診療体制充実加算(20点)」の施設基準として、ハザードマップにより自施設の災害リスクを把握したうえで、災害対応マニュアルを作成することが求められています。

透析医療は、水・電力・人員など多くのインフラに依存しており、災害時にも治療を継続するためには、平時からの備えが不可欠です。

今回のOCでは、BCPの基本から、透析施設における災害対策マニュアル作成のポイントまでを学びます。さらにワークショップを通じて、自施設の状況を整理し、実際のマニュアル作成・見直しをサポートします。



備えることで、
守れる命がある



日時

2026年11月22日(日)



場所

元町レンタルスペース ジェム
大会議室(3-A)



参加費

兵庫県臨床工学技士会 会員
学生 500円/一般 1000円



司会

中村 拓生 先生 (明石市立市民病院)
福井 美咲 先生 (さかいクリニック)



申し込み

Google forms



定員

70名



プログラム

講演・ワークショップで、実践的に学びましょう！

10:00
～10:30



講演

「BCPの基礎～透析治療を継続させるための準備～」

講師 宮本 照彦先生 (医療法人 中央内科クリニック)

10:30
～11:00



講演

透析医療の災害対策マニュアルを再考する
～施設特性を踏まえた実践的マニュアル構築～

講師 岡本 裕美先生 (東邦大学医療センター大橋病院)

11:00
～12:30



ワークショップ

「実際にBCPマニュアルを作ってみよう」

講師 三井 友成先生 (姫路赤十字病院)



皆様のご参加をお待ちしております！

主催：一般社団法人兵庫県臨床工学技士会

お問合せ先 城木 章年 jojoakiton@gmail.com